

2014「活動家養成講座」「公開講座」を 開催しました

労働組合運動の今後の方向について理解を深め、また、組合活動の実践に役立つ知識を得ることによって、連合、組合活動強化に結びつける。各構成組織間の情報の交換や交流により、幅広い視野を持ち、企画実践に向けた力を養った人材を育成する目的で、連合山形 / (一社)山形県経済社会研究所 (連合山形総合生活研究所)の主催により、2014「活動家養成講座」を開催しました。

また、8月28日には、労働者教育の一環として行っている「活動家要請講座」の受講者以外の方々にも参加を呼びかけ、「公開講座」として、山形大学人文学部教授 立松 潔氏による「アベノミクス・デフレ克服策とその限界」と題した講演を開催しました。

「活動家養成講座」日程

講座日	時間	講義内容
8/23(土)	10:30~10:40	開校式
	10:40~12:00	メンタルヘルスの現状と基礎 山形産業保健総合支援センターメンタルヘルス対策促進員 遠藤 栄
	13:00~14:20	労働基準法に定める労働時間、賃金、休日・休暇の基礎知識 特定社会保険労務士 若木義寛
	14:30~15:50	労働者保護ルール改悪の動向と連合の取り組み 連合本部雇用法制対策局長 伊藤彰久
8/28(木)	公開講座 18:00~19:30	アベノミクス・デフレ克服策とその限界 山形大学人文学部教授 立松 潔
8/30(土)	10:40~12:00	女性が輝く社会の実現に向けて 山形労働局雇用均等室長 宮村雅江
	13:00~14:20	働くということと現代の労働組合の役割 日本女子大学名誉教授 高木郁朗
	14:30~15:50	魅力ある労働組合にするには」グループディスカッション コーディネーター：日本女子大学名誉教授 高木郁朗
	16:00~18:00	修了式および懇親会

2014「活動家養成講座」



2014「公開講座」

